

1、二本松市の市章について



◎市章デザインの趣旨

二本松のイニシャル「N」をモチーフに躍動感あるフォルムでシンボライズ。
中心に集まる形は安達地方の中心都市であることの象徴と新市民の調和と団結を表し、未来へ向かい躍進する市の未来像をデザイン化。
緑は美しい自然、安達太良と阿武隈の山なみ、青は市の中心を流れる阿武隈川を表しています。

※色について・・・中央の線は青色、上下の線は緑色（広報にほんまつや市のホームページにもあります）

2、二本松市の花・木・鳥について

市の花「きく」 市の木「さくら」 市の鳥「うぐいす」

◎制定の経過

合併前の旧市町の花・木・鳥については、それぞれ次のとおりでした。

| | 旧二本松市 | 旧安達町 | 旧岩代町 | 旧東和町 |
|---|-------|-------|-------|-------|
| 花 | きく | ゆきやなぎ | つつじ | やまつつじ |
| 木 | さくら | まゆみ | まつ・すぎ | すぎ |
| 鳥 | うぐいす | うぐいす | うぐいす | きじ |

上記のように、旧市町の花・木・鳥については、それぞれ違っていたため、新しい二本松市の花・木・鳥をあらためて制定することとしました。

新市の花・木・鳥を決めるのに当たっては、多くの市民のみなさんの意見を聞いて制定することとし、何がふさわしいかについて市民のみなさんから募集しました。

それを基に平成17年9月5日、二本松・東北達地方合併協議会において、みなさんからの応募結果を参考にして、市の花・木・鳥が決定されました。

◎選定の理由

きく……………秋の菊花展「二本松の菊人形」が全国的に有名なこと。また、市内には菊を栽培している菊花愛好家が多く各地域で菊花展（菊花品評会）が行われていること。などの理由により、応募が最も多かった「きく」を市の花に決定しました。

さくら……………霞ヶ城公園の桜、岳温泉の桜坂、合戦場のしだれ桜、愛蔵寺の護摩桜など市内には桜の名所が多いこと。また、桜の花がきれいなこと。などの理由により、応募が最も多かった「さくら」を市の木に決定しました。

うぐいす……………鳴き声が美しいこと。市内のあちこちで鳴き声を聞くことができること。早春の鳴き始めたときに声を聞くと春を感じる（春告鳥（ハルツゲドリ）という別名もある）。などの理由により、さらに旧1市2町でも「うぐいす」だったことから、応募が最も多かった「うぐいす」を市の鳥に決定しました。